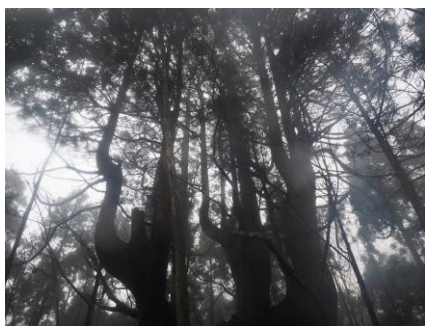


寺谷とナメラ谷出合から峰床山西尾根に登るのは2回目になる。前日までの天気予報の入れ替わりにイライラしたが、結局月曜日の決行になった。

峰定寺の駐車場に車を止め、美山荘を横目に歩き、寺谷川沿いの林道から左下を見ると、冷たく澄みきった水流が朝の柔らかな光にゆらめき、かすかに黄緑色に変化した冬苔との調和が美しい。突如、静けさを裂くように黒い魚影が上流の岩陰に消える。

寺谷とナメラ谷出合の右手、ナメラ谷の右岸に獣道がある。それが西尾根への取付き点。ナイロン製の防寒具や雨具は濡れた落ち葉で滑ると制動が効かないので脱いでもらった。急斜面が標高差200mほど連続し、滑落すると危険なので慎重に登る。朝方まで雨だったのか落ち葉が濡れている。

尾根に上がるとシャクナゲやイワカガミがある。しばらく平坦だがすぐに標高差100mほどの急登である。倒木を避けながら登る。



標高823mまで登ると散歩気分で歩ける。830m辺りの大地に乗ると杉の巨木が点在する。以前、落雷で杉の大木が真っ黒に焼け焦げて炭化していた表皮が元の茶色に戻りつつあるように思えた。

標高880mで林道が横切る。尾根に取り付ける道は無く、しばらく迂回する

が道はなく無理やり尾根に上がった。(今回は、林道から尾根への取付きは、尾根に向かって右手に回り込んですぐの崖を登ったが、これが正解のようだ)

山頂が近づくと無線施設があり、階段が整備されている。

峰床山山頂に人影は無い。ガスが多く展望は望めない。思い思いの場所でランチタイム。時折日差しがあり寒くはない。



ランチ後、830mのコルまで引き返し、小ピークから南に派生する尾根を歩く。シャクナゲとイワウチワが多い尾根でそれほど障害はなく歩けるが、瘦せ尾根の急斜面手前でシャクナゲに阻まれる。迂回ルートは左右にあるが私達が選んだ西側は岩崖が迫り通過に注意がいる。危険箇所を通過してから見上げると獣たちは東側を通過した形跡があるが、シャクナゲの下を潜っているので人間には難しいだろう。

尾根の最終地点標高差 100mほどは急斜面で注意がいる。ナメラ谷沿いの斜面に出ると岩崖なので尾根の西側にある谷に下り無事ナメラ谷沿いの林道に出た。このコースはイワカガミ、イワウチハ、シャクナゲが多くあるが読図力と脚力が必要なので一般向きではない。

☆メンバー 三鍋・他4名

☆コース 登山口 8:30～尾根取付 9:00～尾根 9:40～大杉の森 10:20～

林道 11:15～山頂 11:45 発 12:20～尾根分岐 12:55～林道 14:05～駐車場 15:05